

令和6年度 調布市立柏野小学校 学校経営計画（学校長 西山 豪一）

学校の教育目標	
◎考える子（友達と共に考え、自分の考えを深めていく児童「主体的に学ぶ力」） ○思いやりのある子（命の大切さを理解し、自分も友達も大切にできる児童「人とかかわる力」） ○健康な子（運動の楽しさや喜びを味わい、健康の大切さを実感できる児童「健康・安全に努める力」）	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
【目指す学校像】 「誰もが通いたい学校 誰もが通わせたい学校」 ○児童が、自らの成長を感じ、明日に期待をもてる学校 ○教職員が、自信とゆとりをもって、互いに高め合える学校 ○保護者や地域が、安心して任せられるとともに、すすんで関わりたくなる学校	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	【主な現状】 学校生活に前向きに取り組もうとしている児童は多いが、一方で、学習面や生活面で課題がある児童、登校渋りのある児童、特別な支援が必要な児童がどの学年にも一定数いる。 【課題】・授業のめあてや振り返り、発問の工夫などによる単元を通して主体的に学べる授業の実践 ・人とかかわりを通して、自分の考えを深めるための協働的な学びの実践 ・6年間を通した家庭学習の充実 ・組織で児童一人一人の状況を把握し、学校全体で児童を育成していくための体制づくり ・様々な課題がある児童に対応するための指導力の向上
中期的な経営目標	
① 温かい人間関係の中で豊かな心を育む。(特別活動と道徳教育との両輪による心の育成と道徳的实践力の向上) ② 一人一人の児童に応じて学力を身に付けさせる。(各教科における基礎・基本の確実な定着と各教科等における見方・考え方の育成) ③ 運動・健康保持の習慣化を図る。(運動の楽しさと自己の伸びを味わうことによる運動習慣の定着と食育を中心とした健康教育の推進) ④ 社会性や自立性を身に付けさせる。(キャリア教育の充実や中学校との連携) ⑤ 児童が安心して学べる環境を整備する。(UD 環境の整備や指導方法の工夫、オンラインの活用) ⑥ 地域との連携を通して、地域で児童を育てる。(学校運営協議会での熟議や地域協働本部との連携) 人・組 様々な課題に対応できる能力の育成を図る。学校を活性化し、安定して運営するための組織づくりを目指す。	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
① 豊かな心(徳)	② 確かな学力(知)	③ 健やかな体(体)
(1) 取組目標（具体的方策） ① 研究授業や人と関わる活動（クラス遊び、たてわり班活動、係活動等）を計画的に実施する。 ② 道徳やふれあい月間の取組を計画的に実施し、いじめの未然防止・早期発見に努める。	(1) 取組目標（具体的方策） ① 基礎・基本の定着のために、前時の振り返りやスモールステップを取り入れた授業を行う。 ② 単元内に1回以上は、協働的な学習場面で児童用タブレットを活用した授業を実践する。	(1) 取組目標（具体的方策） ① 授業や休み時間など校庭で体を動かす機会を増やし、身体を動かす楽しさを感じさせる。 ② 栄養士や養護教諭を中心に給食を中心とした食育の推進を図る。
(2) 成果目標（数値目標） ① 「協力」や「仲良く」に関する保護者・児童アンケートの肯定的評価を90%以上にする。 ② 「いじめ」に関する保護者アンケートの肯定的評価を80%以上にする。	(2) 成果目標（数値目標） ① 「基礎基本の定着」に関する保護者・児童アンケートの肯定的評価を80%以上にする。 ② 「タブレットの活用」に関する保護者・児童アンケートの肯定的評価を80%以上にする。	(2) 成果目標（数値目標） ① 「運動」に関する保護者・児童アンケートの肯定的評価を80%以上にする。 ② 「食育」に関する保護者アンケートの肯定的評価を90%以上にする。
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
④ 小中連携の充実	⑤ UD 環境の整備	⑥ 地域との協働
(1) 取組目標（具体的方策） ① 中学校区による小中連携の取組を計画的に実施する。 ②	(1) 取組目標（具体的方策） ① めあて・授業の流れを視覚的に示すことで、見通しをもたせた授業を行う。 ② かにやま教室教員との連携を通して、学習環境の整備と学習活動の工夫を進める。	(1) 取組目標（具体的方策） ① 学校運営協議会を計画的に実施する。 ② 地域協働本部と連携し、地域の方々の協力得た学習活動を展開する。
(2) 成果目標（数値目標） ① 「小中連携」に関する6学年児童・保護者アンケートの肯定的評価を80%以上にする。 ②	(2) 成果目標（数値目標） ① 全学級で「めあて」「流れ」「振り返り」を示した授業を実践する。 ② 「UD 環境」に関する保護者アンケートの肯定的評価を80%以上にする。	(2) 成果目標（数値目標） ① 学校運営協議会を年10回実施する。 ② 「地域」に関する保護者アンケートの肯定的評価を80%以上にする。

人材育成・組織運営
○主任教諭を中心としたミニ研修を計画的に実施するとともに、個々の教員に応じた研修計画を立てる。 ○いじめ、不登校、特別支援教育に迅速に対応できる組織づくりと環境整備を行う。